

企画展

デザイン&アート 三木染形紙展

MIKI-SOMEKATAGAMI

2026

2/14_[土] ▶ 3/8_[日]

AM10:00-PM5:00(入館は16:30まで)

書 家 池田 安澄 高田 美乃

現代アート 高田 哲男

ガラス作家 藤本 長

切り絵作家 亀井美知代 長谷川 徹

彫 刻 家 竹本悠大郎

ファッションデザイナー 山本 豊

建 築 家 米澤 修二

ギャラリートーク

2/14_[土] 13:30~

「染形紙から紐解く
三木の視覚文化の可能性」
小澤 みのり 氏

「染形紙の造形から辿る
「三木」という土地の記憶」
竹本 悠大郎 氏

ワークショップ

2/22_[日] 10:00~ 消しゴムはんこ

「形紙のモチーフで消しゴムはんこを作ろう」

3/1_[日] 13:00~ クラフト

「形紙の柄の和紙でミニドレスを作ろう」

休館日/2/16(月)・24(火)、3/2(月)

主 催/三木市立堀光美術館、三木市教育委員会

協 賛/ギャラリー湯の山みち OYAKO.Fabric

アトリエ ローレル デザイナー:YUTAKA YAMAMOTO

三木市立堀光美術館



〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4-5
TEL.0794-82-9945 FAX.0794-82-9974

入館無料

デザイン&アート

三木染形紙展

令和4年、約40年をかけて三木染形紙の蒐集、保存活用に取り組まれてきた『ギャラリー湯の山みち』館長 筒井俊雄氏所蔵の1,242点にも及ぶ染形紙コレクションが、三木市指定文化財(有形民俗)に指定され、令和7年1月に「筒井俊雄氏所蔵調査報告書」が発行されました。

この貴重な研究は、私たちの実り多い学びとなり、さらには三木市の発展に大きく貢献するものであります。三木市立堀光美術館は、長年に渡る研究成果に心よりの敬意を表し『デザイン&アート三木染形紙展』を開催いたします。

三木はその昔、羽柴秀吉軍と三木城主別所長治公の軍勢が、約2年間に及ぶ三木合戦を繰り広げ、天正8年(1580)に落城。以後、荒廃した町の復興のために、大工職人や鍛冶屋等多種の職人が定住するようになり、三木の町が形成されました。中でも鍛冶屋がその技術を継承してきたことから、金物の町として繁栄しました。

また近年には、紺屋(染物屋)、形屋(染形紙屋)の活躍が重視され研究されています。三木市の古文書には、鍛冶屋よりも多くの形屋が古くから活躍していた歴史が記録され、それを裏付けるように三木の形屋が制作した形紙が各地で検出されています。現存する形紙は、高度な彫刻技術と洗練されたデザインで制作されており、今もなお国内外から高い評価を得ていることに感動を覚えます。

染形紙は、全国視野で捉えて創作される高度な芸術品であり、あらゆる階層、情勢、文化の適応が求められます。顧客の要望に応えながら、流行の先端を見据えてより洗練された技とデザインが生産され、特産品として周知されていたと考えると、三木の町は確実に産業、文化、芸術と共に繁栄していたと言えるでしょう。

三木染形紙研究に多大なるご尽力を賜り、本展を心から楽しみにされていた筒井俊雄氏は、本年1月にご逝去されました。市民としての誇りと未来の可能性に気づかせていただいたご貢献に、深く感謝申し上げます。

三木市立堀光美術館

ギャラリートーク

2/14 13:30～ 申込不要
[土]

「染形紙から紐解く
三木の視覚文化の可能性」

講師：関西学院大学 大学博物館
(元三木市総務部市史編纂室)

小澤 みのり氏

「染形紙の造形から辿る
「三木」という土地の記憶」

講師：岩手大学 教育学部 美術教育科 講師
竹本 悠大郎氏

ワークショップ

2/22 10:00～16:00 申込不要/随時
[日]

「形紙モチーフで消しゴムはんこを作ろう」

参加料：200円(材料費含む)

3/1 13:00～15:00 要申込:定員8名
[日]

「和紙(三木染形紙の柄)でミニドレスを作ろう」

講師：アトリエローレル デザイナー
芸術学博士 山本 豊氏

参加料：1,500円(材料費含む)



三木市立堀光美術館

MIKI CITY HORIMITSU ART MUSEUM

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4-5

TEL.0794-82-9945 FAX.0794-82-9974

- ・神戸電鉄(粟生線)三木上の丸駅下車徒歩5分
- ・神姫バス(神戸三宮駅から西脇営業所)三木上の丸下車徒歩5分
- ・神姫バス(明石駅から三木営業所)三木中町下車徒歩8分
- ・山陽自動車道(三木・小野IC)南東2km

